

〈校訓〉

夢がもてる我が母校を創ります



港区立芝浦小学校  
学校だより 令和6年3月号  
発行 令和6年2月26日

# 芝浦だより

## 節目にあたり

校長 井田 孝

二十四節気の雨水(うすい)を過ぎました。凍っていた大地や雪、氷が融けて草木が芽生え始め、農耕の準備を始める目安とされてきました。地球温暖化の影響なのか、東北地方でも雪不足で営業できないスキー場がいくつもあると報道されていました。そんな中、2月の初旬に都心でも積雪があり、白い息を吐きながら笑顔で登校する子供たちの姿が見られました。足元に気を付けながら雪道を歩いたり、雪遊びをしたりする貴重な機会になったようです。

2月はふれあい月間で、道徳では親切、思いやり、友情について考える機会をもちました。昨年の小中高生の自殺者は507名、そのうち小学生は13名。その主な理由は学業不振、進路の悩み、友人関係の不和、入試の悩みでした。一見、明るく元気に過ごしているようでも、心の中では悩み、苦しんでいる子供たちが近くにいるかもしれません。無邪気で素直な子供たちですが、人は悪気なく、時には悪意をもって誰かを傷つけてしまうことがあります。一人一人に人権尊重の理念を定着させ、相互理解に努め他者を思いやる態度の育成を目指し、あらゆる偏見や差別をなくしていくよう指導を継続してまいります。そして、一人で悩み苦しまないために、地域や保護者の皆様にも、自殺予防やいじめ防止へのご理解、ご協力の程、引き続き宜しくお願いいたします。

チャイルドライン 0120-99-7777  
24時間子供SOSダイヤル 0120-0-78310  
いのちの電話 0120-783-556

先日、6年生が全校に芝浦太鼓の演奏を披露しました。引き締まった表情とダイナミックな動きに、最後は会場中に大きな拍手が響きました。開校82周年を迎えた芝浦小をリードしてくれた6年生も、いよいよ巣立ちの時を迎えます。下級生は芝浦小のよき伝統を引き継ぐとともに、一人ひとりがこの1年の自分の成長を振り返り、次なる目標の設定準備にかかる節目にしてまいります。地域や保護者の皆様には、今年度も本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

### 【御礼とお知らせ】

○計画委員会の5・6年生が能登半島地震被災者への募金を2月9日と13日に実施しました。集まった金額64011円は、日本赤十字社を通じて、能登半島地震で被災された方に届けました。ご協力ありがとうございました。



○芝浦小のシンボルキャラクターを計画委員会が全校に募集し、そのお披露目を2月20日の開校記念朝会で行いました。名前は「しばうらいおん」。全校で取り組んでいる「あいさつ運動」ののぼりに、その姿が描かれています。たくさんの方に永く親しまれ、愛されるキャラクターになってほしいと願っています。